

令和4年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	02	174040	商店街賑わいづくり事業費

単位: 千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		109,796	48,585		-61,211
財源内訳	国費	29,448	0		-29,448
	県費	0	0		0
	地方債	42,300	9,900		-32,400
	その他	30,000	33,100		3,100
	一般財源	8,048	5,585		-2,463

特定財源の内訳					

事業期間	○	単年度繰返		期間限定	～
------	---	-------	--	------	---

部重点施策における目標

商店街の再生

事業開始の背景・経緯

中心市街地の商店街疲弊に歯止めをかけるため、商店街団体が実施するイベントや商工会議所、中小企業団体中央会の経営指導事業等を支援するとともに、新たに創業する事業者への支援を行うことにより、中心市街地の賑わいを創出していく。
--

事業概要

<p>○各種団体補助金・負担金 33,553千円 花巻商工会議所事業補助金、まちの駅連絡協議会会費、岩手県中小企業団体中央会補助金</p> <p>○商店街活性化イベント補助金 2,425千円 商店街団体等が実施する賑わいづくりイベント事業（感染症対策費含む）への補助</p> <p>○まちなか創業支援 2,022千円 中心市街地で未利用店舗等を活用して新たに創業する事業者への補助及び経営指導</p> <p>○日本ワインフェスティバル花巻大迫の開催 8,385千円 東北地方のワイナリーを招聘して、5/28・5/29に有料試飲会を開催</p> <p>○エーデルワイスコレクション展示事業 2,200千円 故・板倉登喜子氏から寄贈されたエーデルワイスコレクションや早池峰の里元気倶楽部が所有しているコレクションを併せ、R4.6～R4.8に企画展示を実施</p>

担当部署	14100000 商工観光部 商工労政	担当課長	久保田 謙一
------	---------------------	------	--------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1

○商店街賑わいづくり事業	R4	48,585千円
--------------	----	----------

1. 各種団体補助金・負担金33,553千円

- (1) 花巻商工会議所補助金32,500千円
【概要】市内中小企業者の経営指導や部会活動費、調査候補日、イベント費用等を支援。
- (2) まちの駅連絡協議会会費60千円
【概要】まちの駅いしどりや酒蔵交流館がまちの駅として認定され、協議会に加入。まちの駅いしどりや酒蔵交流館の加盟にかかる年会費（H19.9.1まちの駅認定）同協議会は、まちの駅に取り組んでいる市町村・団体のネットワークであり、まちの駅情報の共同発信、イベント・シンポジウム、特産品紹介・斡旋、研修事業などを実施。
- (3) 岩手県中小企業団体中央会補助金993千円
【概要】中小企業の組織強化、経営向上のための経営指導などを行う。
花巻市内重点支援：4件、特別支援団体・企業：5件

2. 商店街活性化イベント補助金2,425千円

- 【概要】
- ①商店街団体等が実施する賑わいづくりイベント事業補助
補助率：対象経費の1/2
上限額：500千円（2イベントの場合は上限1,000千円）
事業主体：商店街振興組合、任意商店街、実行委員会等
実績：5団体7イベント
- ②イベント開催時新型コロナウイルス対策費補助
補助率：対象経費の10/10
上限額：50千円
実績：4団体5イベント

3. まちなか創業支援2,022千円

- (1) まちなか創業支援1,957千円
【概要】中心市街地エリアの未利用店舗を賃借して新規創業する事業者に対し、改装等の経費の一部を補助。
補助率：対象経費の1/2
上限額：500千円
実績：5件、交付額1,957千円
- (2) 創業後の経営指導 65千円
【概要】まちなか創業の補助事業者に対し、営業開始後1年以内に中小企業診断士による経営指導を行う。
謝礼金：補助事業者経営指導13,000円×5件＝65千円
・R2補助事業者：4件、R3補助事業者：1件

令和4年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	02	174040	商店街賑わいづくり事業費

事業手法の詳細 2
<p>4. 日本ワインフェスティバル花巻大迫開催8,385千円 日本ワインフェスティバル花巻大迫実行委員会負担金7,700千円 会計年度任用職員 685千円 開催：日本ワインフェスティバル花巻大迫実行委員会 開催日時：令和4年5月28日（土） 正午から午後5時 令和4年5月29日（日） 午前10時から午後4時 場所：大迫交流活性化センター周辺 内容：北海道・東北・関東・北信越地方等の34ワイナリーの有料試飲 県内在住者各日500人を上限とした。28日391人、29日338人の合計729人</p> <p>5. エーデルワイスコレクション展示事業 2,200千円 エーデルワイスコレクション展示業務委託料2,200千円 開催時期：令和4年6月11日から8月28日。 場所：花巻市総合文化財センター企画展示室 場料：一般200円、高校生以下100円（文化財センター入館料） ※20名以上の団体は50円引き 内容：故・坂倉登喜子氏から寄贈されたエーデルワイスコレクションや早池峰の里元気倶楽部が所有している コレクションを併せ、R4. 6. 11～R4. 8. 28で企画展示を開催。 展示点数：331点（市所有302点、早池峰の里元気倶楽部所有29点） 来場者数：674名</p>

事業手法の詳細 3

令和4年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	02	174050	商店街利便性向上事業費

単位: 千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		10,559	10,485		-74
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	10,559	10,485		-74

特定財源の内訳					

事業期間	○	単年度繰返		期間限定	~
------	---	-------	--	------	---

部重点施策における目標					
商店街の再生					

事業開始の背景・経緯					
中心市街地の商店街疲弊に歯止めをかけるため、商店街における駐車場等の利便施設の運営や、商店街が実施する共同施設の改修を補助し、利便性向上を図る。					

事業概要					
○市民ふれあい広場運営 9,053千円 中心市街地での買い物客が休憩等に利用する利便施設の運営 小さな百貨店ぶらっとの運営に必要な人件費等を補助					
○公共駐車場確保対策 1,432千円 大迫地区内の中心商店街来街者用駐車場を確保					
○商店街共同施設補修事業補助金 0千円 商店街が設置した共同施設の補修経費への補助					

担当部署	14100000 商工観光部 商工労政	担当課長	久保田 謙一
------	---------------------	------	--------

意見・要望等の状況			

事業手法の詳細 1			
商店街利便性向上事業	R4	10,485千円	
1. 市民ふれあい広場運営		9,053千円	
商店街の利便施設として運営			
・一日市商店街（一日市商店街振興組合） 885千円			
・上町商店街（花巻市広告美術協会） 6,753千円			
・大迫町商店街（あねっこの会） 235千円（運営委託費0円、賃料180千円 需用費55千円）			
・石鳥谷中央通り商店街（石鳥谷中央通り商店街振興会） 675千円			
うち小さな百貨店ぶらっと運営事業補助金 200千円			
⇒利便施設小さな百貨店ぶらっとの運営に必要な人件費等を補助			
・東和町商店街（東和町土沢商店街商店会連絡会） 505千円			
2. 公共駐車場確保対策		1,432千円	
大迫地区内の中心市街地来街者用の駐車場を確保			
需用費（融雪剤） 0千円			
除雪委託料 97千円			
借上料 1,335千円			
基準地価 面積 賃借料			
・仲町駐車場 15,800円 854.22㎡ 674,800円…①			
・上町駐車場 10,400円 643.00㎡ 334,300円…②			
・川原町駐車場 15,800円 413.00㎡ 326,200円…③			
※賃借料＝基準地価×面積×5%（100円未満切り捨て）			
①+②+③＝1,335,300円			
3. 商店街共同施設補修事業補助金		0円	
【概要】			
商店街の共同施設の補修経費に対して補助する。			
【内容】			
補助率：対象経費の1/2（上限50万円）			
対象施設：駐車場、園地、緑地、公衆便所、広告灯、街路灯、アーチ、アーケード			
実績0件（予算：300千円）			

令和4年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	02	174060	商店街景観形成事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		6,000	7,850		1,850
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	4,000	5,800		1,800
	その他	0	0		0
	一般財源	2,000	2,050		50

特定財源の内訳					

事業期間	○	単年度繰返		期間限定	
------	---	-------	--	------	--

部重点施策における目標

商店街の再生

事業開始の背景・経緯

中心商店街の賑わいづくりに加え、自主的なまちづくりを促進するために地域住民や関係団体が取り組む事業に対して支援を行う。顔づくり交付金は、平成21年度～5年間、平成26年度～3年間の計画を認定し交付。平成29年度からは単年度実施。

事業概要

○中心商店街顔づくり交付金 6,000千円
大迫、石鳥谷、東和それぞれの中心商店街の顔づくりに取り組む商店街等への支援

○大迫地域街並み整備検討委員会負担金<新規> 1,850千円
大迫地域（仲町地域）の特徴を踏まえた外観色の統一、既存建物の改修基準や遊休不動産の活用による農家レストラン及びチャレンジショップ等の検討を行うため、まちづくりの専門家によるコーディネート等の支援を行う。

担当部署	14100000 商工観光部 商工労政	担当課長	久保田 謙一
------	---------------------	------	--------

意見・要望等の状況

顔づくり交付金について、大迫、石鳥谷、東和の3地域から継続の要望がある。

事業手法の詳細1

1. 中心商店街顔づくり交付金 6,000千円
(1)大迫地域「宿場浪漫のまち おおはさま」 2,000千円

- ①実施主体
大迫地域中心市街地顔づくり委員会
- ②目指す姿
宿場浪漫のまちをテーマとし、来訪者に昔の宿場町の面影を感じてもらえるような和風レトロのまち並みや歴史ある様々なイベント等を活用し、来訪者と商店街が一体となった明るい商店街を目指す。
- ③内容
- ・「九の市」活性化事業
 - ・まちなかの景観整備検討事業
 - ・酵母菌利用調査事業
 - ・市街地装飾事業
 - ・SNS情報発信事業
 - ・来街者おもてなし事業
 - ・案内板設置事業

(2)石鳥谷地域「南部杜氏の里に全員集合！」 2,000千円

- ①実施主体
石鳥谷中央通り商店街振興会
- ②目指す姿
まちの駅いしどりや酒蔵交流館を拠点として、住民に酒蔵の雰囲気を経験できるようにすることで南部杜氏の里であることを身近なもの印象付け、地域の伝統を継承する一方、市内高校生の意見を取り入れ、新しい取り組みも行うことで老若男女を問わず楽しめる賑わいのあるまちを目指す。
- ③内容
- ・酒蔵交流館落成記念事業 7/1
 - ・花北青雲高校生によるチャレンジショップ 10/30
 - ・花北青雲高校生によるイルミネーション装飾（ぶらっと前） 12/3
 - ・ハロウィン緑日 in ぶらっと開催 10/30
 - ・チョコレート制作、酒蔵交流館へ展示 3/15～
 - ・イルミネーション設置（石鳥谷中央通り商店街から向町商店街までの沿道） 12/3～2/28

(3)東和地域「アートのまち365」 2,000千円

- ①実施主体
土沢商店街商店会連絡会
- ②目指す姿
イベント期間中だけでなく、年間を通してアートを感じる商店街をめざす。
- ③内容
- ・アートのまち365の評価事業（調査報告書「アートのまち365評価レポート2022」作成）
 - ・まちてくギャラリーつちざわ事業（商店街22か所で、3か月おきに新しい作品を展示）
 - ・アートのまち情報発信事業（アート情報誌「木の間通信」の発行 2か月おき全4回 各回5,000部）
 - ・土澤土産・アートまちあるきプロジェクト
 - ・（小中学生による万国旗・ポスターづくり、商店街に掲揚、デザイン講習会）
 - ・商店街ピアノプロジェクト（猿館酒店土間ホールでのジャズライブ開催 全4回 88名参加）

令和4年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	02	174060	商店街景観形成事業費

事業手法の詳細 2
<p>2. 大迫地域街並み整備検討委員会負担金 1,850千円</p> <p>①実施主体 大迫地域街並み整備検討委員会（事業費総額2,450,109円うち市負担金1,850千円）</p> <p>②目指す姿 大迫地域は、遠野街道の宿場町として栄え、街中には古くから趣のある建物などが多く残されている。現存する宿場町らしい建物の保存や景観づくりを図りながら、落ち着いた佇まいを未来への遺産として活用する。</p> <p>③内容 大迫地域（仲町地域）の特徴を踏まえた外観色の統一、現存建物の改修基準や遊休資産の活用による農家レストラン及びチャレンジショップ等の検討を行うため、まちづくりの専門家によるワークショップを開催。 メインファシリテーター：津屋崎ランチ有限責任事業組合 代表 山口 寛 大迫地域街並み整備検討委員会ワークショップの開催（全6回開催）8/5, 9/12, 10/3, 10/17, 12/12, 1/16</p>

事業手法の詳細 3

令和4年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	02	174250	中小企業持続支援事業費

単位: 千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		508,688	637,747		129,059
財源内訳	国費	498,394	458,744		-39,650
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	45,500		45,500
	一般財源	10,294	133,503		123,209

特定財源の内訳					

事業期間	○	単年度繰返		期間限定	～
------	---	-------	--	------	---

部重点施策における目標

商業形態の多様化

事業開始の背景・経緯

新型コロナウイルス感染症の拡大により、特に大きな影響を受けている事業者に対して、事業の継続を下支えするため。
--

事業概要

○中小企業持続支援事業補助金（地代・家賃補助） 73,223千円（うち繰越明許費 9,323千円）
○オンライン申請支援 0千円
○中小企業売上アップ応援事業 383,694千円（うち繰越明許費 113,671千円）
○飲食店等緊急経営支援金 72,600千円
○花巻市いわて飲食店安心認証店舗奨励金 3,600千円
○はなまき小判事業支援補助金 1,926千円
○運輸事業者運行支援緊急対策補助金 18,055千円
○高齢者向けはなまき小判配布業務委託料 59,674千円
○電気料金高騰対策支援業務委託料 23,676千円
○事務費 1,299千円

担当部署	14100000 商工観光部 商工労政	担当課長	久保田 謙一
------	---------------------	------	--------

意見・要望等の状況
これまでに実施したQRコード決済「PayPay」を活用したキャンペーンの効果が大きく、同様のキャンペーンを引き続き実施してほしいとの意見を多くからいただいている。

事業手法の詳細1

○中小企業持続支援事業 R4 637,747千円（うち、R3→R4繰越分 122,994千円）

1. 中小企業持続支援事業補助金（家賃補助） 73,223千円（うち、R4繰越分 9,323千円）
 新型コロナウイルス感染症拡大により特に大きな影響を受けている事業者に対して、事業の継続を下支えするため、事業者が支払う賃借料の一部を補助。

- (1) 補助対象者
 - ・花巻市内に本社または本店を有する中小法人もしくは市内に事業所を有する個人事業主で、小売業、飲食業、宿泊業、道路貨物運送業、卸売業等を営むもの
 - ・売上が2019年～2022年までの間のいずれか同月比30%以上減少しているもの

(2) 補助率
 事業に要する支払い賃料（地代・家賃）の1/2以内（上限：1月あたり10万円）

- (3) 補助対象期間
 - 第7弾：令和4年4月～令和4年6月までの3か月
 - 第8弾：令和4年7月～令和4年9月までの3か月
 - 第9弾：令和4年10月～令和4年12月までの3か月
 - 第10弾：令和5年1月～令和5年3月までの3か月 ※一部R5へ繰越

- (4) 事業実績
 - 第7弾：申請件数 203件、交付額 21,130千円 …①
 - 第8弾：申請件数 192件、交付額 19,529千円 …②
 - 第9弾：申請件数 181件、交付額 18,485千円 …③
 - 第10弾：申請件数 47件、交付額 4,756千円 …④(R4現年分)
 - （第10弾R5繰越分は115件、12,365千円 第10弾合計 162件、交付額 17,121千円
 - ①+②+③+④=63,900千円 …⑤
 - 第6弾（R3→R4繰越分）：申請件数 95件、9,323千円…⑥
 - ⑥+⑦=73,223千円

2. オンライン申請サポート事業 0円
 申請方法がオンラインである支援金の申請を支援するため、申請サポート会場を設けるもの
 オンライン申請の支援が必要な国等の支援制度が実施されなかったため、執行なし

3. 中小企業売上アップ支援 383,694千円（うち、R4繰越分113,671千円）
 新型コロナウイルス感染症の影響により売上が減少している市内中小企業者（飲食店、小売店、サービス業等）の売上回復に資するため、PayPayを活用し、PayPay決済金額の一部を還元することで市内中小企業者の売上回復を図るもの。

- (1) 実施概要
 - ・実施期間：第6弾 7/22-8/21（31日間） 第7弾 12/10-1/9（31日間）
 - ・ボーナスの付与上限：1決済あたりの付与上限4,000円
 期間における付与上限15,000円

- (2) 費用
 - ・ボーナス原資 270,023千円（内訳：6弾+7弾）…①
 - ・キャンペーン手数料 251,567千円（107,617,236+143,950,117円）
 - ・プラットフォーム手数料 2,200千円（1,100,000円+1,100,000円）
 - ・プラットフォーム手数料 8,302千円（3,551,368円+4,750,353円）
 - ・広告宣伝、管理事務経費（商工会議所事務費） 7,954千円（4,322,908円+3,631,189円）

令和4年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	02	174250	中小企業持続支援事業費

事業手法の詳細2

- (3) 実績
 決済総額 第6弾 653,969,649円 第7弾 827,974,723円
 付与額 第6弾 107,617,236円 第7弾 143,950,117円
- (4) R3→R4繰越分
 第5弾 実施期間：3/1～3/31（31日間） 113,671千円…②
 ボーナスの付与上限：1 決済当たりの付与上限4,000円
 期間における付与上限15,000円
- 費用 113,670,798円
 ・ボーナス原資 105,265,701円
 ・キャンペーン手数料 1,100,000円
 ・プラットフォーム手数料 3,473,768円
 ・広告宣伝、管理事務経費（商工会議所事務費） 3,831,329円
- 実績 決済総額：624,627,188円 付与額：105,265,701円
 ①+②=383,694千円
4. 飲食店等緊急経営支援金 72,600千円
 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、売上に特に影響を及ぼしている飲食業及び自動車運転代行業に対し、緊急的に支援金を支給するもの。
- (1) 支給対象者
 ・花巻市内に本店または主たる事業所を有するもの
 ・主たる業種が飲食業もしくは自動車運転代行業を営むもの
- (2) 支給額
 ・飲食店：1店舗につき10万円
 ・自動車運転代行業：1事業者につき10万円
- (3) 事業実績
 ・第1弾：36,300千円（363店舗分）
 ・第2弾：36,300千円（363店舗分）
5. 花巻市いわて飲食店安心認証店舗奨励金 3,600千円
 飲食店利用者に対し、安心して飲食できるよう感染対策を講じている事業者に対し、岩手県が認証する「いわて飲食店安心認証」を取得した事業者に対し、奨励金を支給するもの
- (1) 支給対象者
 ・花巻市内に本社または本店を有する中小法人もしくは市内に事業所を有する個人事業者
 ・「いわて飲食店安心認証」を取得している事業者
 ・令和3年度に実施した、花巻市いわて飲食店安心認証店舗奨励金の給付を受けていない事業者
- (2) 支給額
 認証取得店舗1店舗につき10万円
- (3) 事業実績
 申請件数 36件、支給額 3,600千円（36店舗分）
 <参考>令和3年度実績 申請件数 267件、支給額 30,500千円（305店舗分）
6. はなまき小判事業支援補助金 1,926千円
 花巻商工会議所が発行する地域商品券「はなまき小判」について、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による外出自粛に加え、原油高・物価高により地場店舗だけでなく、大手スーパー等も利益確保が厳しい状況であることから、販売枚数を拡充して実施するための事業費を市として補助
- (1) 内容
 花巻商工会議所事業で実施している通常のはなまき小判の発行枚数を9万枚に2万枚追加及びプレミアム率を8%から10%へ2%引き上げ。

事業手法の詳細3

- 「R3：9万枚（プレミアム8%） → R4：11万枚（プレミアム10%）」
 商品券1枚1,000円分を1セット22枚20,000円にて販売（プレミアム分2,000円）
 110,000枚÷22枚/セット=5,000セット
- (2) 実績
 販売枚数 110,000枚
 換金枚数 109,384枚
 ・花巻市補助額 1,926千円
 (内訳)
 プレミアム分 1,796千円
 印刷事務費 130千円
7. 運輸事業者運行支援緊急対策補助金 18,055千円
 貨物自動車運送事業者を対象に、燃料費高騰の影響を緩和するため1台あたり23千円を支援
- (1) 対象 花巻市市内に本社または営業所を有する中小企業者が花巻市内を使用の本拠の位置としている貨物自動車
- (2) 補助額 1台あたり23千円
- (3) 実績 ①支給件数 62件（法人48件、個人14件）
 ②対象車両台数 785台（緑ナンバー754台、黒ナンバー31台）
 ③支給額計 18,055千円
8. 高齢者向けはなまき小判配布委託料 59,674千円
 新型コロナウイルス感染症拡大に加え、年金引下と物価高により高齢者の消費に支障をきたす恐れがあることから、キャッシュレス決済ポイント付与キャンペーンのみならず、スマートフォン保有率の低い世代の消費喚起にむけ、花巻商工会議所が実施する地域通貨「はなまき小判」を、70歳以上を対象に2,000円分を配布し、市内事業者の売上向上を図るもの
- (1) 配布対象者 10/1時点で70歳以上の市民
 (2) 配布枚数 50,790枚
 (3) 換金枚数 46,128枚
 (4) 換金率 90.8%
 (5) 業務委託先 花巻商工会議所
 (6) 委託料 59,674千円（事務費分13,546千円、換金費分46,128千円）
9. 電気料金高騰対策支援業務委託料 23,676千円
 電気料金が高等している市内中小事業者を支援するため、支援金を給付するもの。
- (1) 対象者 市内に事業所を有し主たる業種が製造業又は卸売業を営む中小事業者
- (2) 支援金額 市内事業所で使用した電気料金の合計でR4.4月から申請直近までの連続した任意の6ヶ月と前年同月を比較し上昇した金額
 上限 法人200千円 個人事業者 50千円
- (3) 実績 ①支給件数 157件（法人144件、個人13件）
 ②支給額 23,186千円
 ③事務費 490千円
10. 事務費 1,299千円
 (1) 会計年度任用職員 710千円
 報酬：557千円 期末手当：62千円 共済費：76千円 通勤手当：15千円
 (2) 需用費 345千円
 (3) 役務費 244千円

令和4年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	08	04	01	184250	リノベーションまちづくり推進事業費

単位: 千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		56	407		351
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	56	407		351

特定財源の内訳

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	～
------	---	-------	------	---

部重点施策における目標

立地適正化計画にかかる都市再構築事業及び関連事業を推進する。

事業開始の背景・経緯

民間自立型のまちづくり会社等により中心市街地における遊休不動産を活用した事業開発、事業投資を促進し、主に都市機能誘導区域内を中心に経済活動の活発化を推進する。

事業概要

○リノベーション推進シンポジウム 407千円
遊休不動産を含む花巻中央広場・大堰川プロムナード・上町通りの道路等公共空間の一体的活用に向け、地域や関係団体、民間事業者等との意識共有やネットワーク化などを図るためのシンポジウムやワークショップの開催

担当部署	14100000 商工観光部 商工労政	担当課長	久保田 謙一
------	---------------------	------	--------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細1

花巻リノベーションシンポジウム 407千円

○目的
シンポジウム（ワークショップ）を通じて、“何かに挑戦してみたい人”“まちを面白くしたい人”が自らが動きだすためのきっかけづくり、ネットワーク化などを目的に開催する。また、あわせて物件オーナーへの理解促進もはかっていく。

○内容
(1) 第1回：シンポジウム
・講師：グランドレベル株式会社 代表取締役 田中元子氏
・人数：75名
・対象者：まちづくりに関心がある市民、空き物件オーナー（公共空間活用協議会メンバー）
・会場：マルカン大食堂（市民・民間の力で再生したリノベーションの取り組みの象徴的な場所）
・講演：90分
・周知：リノベーションにより再生したお店(lit work place, カゲツドアーズ、メイン) 商工会議所、青年会議所などの団体を通じての告知、HP、広報誌

(2) 第2回：ワークショップ（公共空間活用勉強会）
・講師：㈱BonD Planning
・人数：16名（4名×4グループ）
・対象者：街づくりに関心がある市民、まちなかで何かしてみたい人
・会場：カゲツドアーズ（市民・民間の力で再生したリノベーションの取り組みの象徴的な場所）
・目的：① 花巻市の現状、すでに先駆的にリノベーションに取り組む人たちの話を聞き、参加者が街と受動的に関わるのではなく、能動的に関わるよう促す。
② 家守のようなハードルの高い取り組みからではなく、それぞれの得意なこと・好きなことでも街に関わることを認識してもらい、実践に移す契機にしてもらう。
③ 街に関心のある層の横の繋がりをつくりネットワーク網を広げてもらう。
・その他：ワークショップの参加者には、公共空間活用社会実験の1年目に実施する小規模な社会実験に参加してもらう。

○経費
・10節 需要費 107千円 案内用チラシ印刷代、ワークショップ文具代
・12節 委託費 231千円 リノベーションシンポジウムに係る委託費
・13節 使用料 69千円 会場代（2回分）